

| | |
|----|-------|
| 全体 | 12 |
| 個別 | 03-01 |

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

| | |
|-----|-------|
| 課名等 | 観光商工課 |
|-----|-------|

| 区分 | 項目 | 観光客の受入体制の整備に向けた取組み |
|------|--------|---|
| 1 | 【内容】 | 顧客満足度及び利便性の向上を図るため、宿泊及び飲食店の施設機能を高める支援を行うとともに、観光しやすい環境を整備します。 |
| 組織目標 | 【指標】 | <ul style="list-style-type: none"> ○宿泊、飲食店への施設整備 対馬市宿泊施設等機能向上整備支援補助金 採択件数 15件 ○観光しやすい環境整備 Wi-Fi機器整備 全島エリア 42か所 完全自己処理型トイレ整備 2か所 |
| 2 | 実績（成果） | <ul style="list-style-type: none"> ○対馬市宿泊施設等機能向上整備支援補助金実績 採択件数 33件（54,172千円） ○Wi-Fi機器整備 43か所（アクセスポイント：56基） ○完全自己処理型トイレ整備 2か所（豆敷崎公園内、県道39号線峰町志越付近） |
| 3 | 評価 | <p style="text-align: center;">◎</p> <p>宿泊施設等機能向上整備は、目標の2倍を超える申請件数でトイレや外壁、内壁等の改修が進み、清潔感と快適性が整った訪れしやすい環境へと改善されました。また、Wi-Fi機器及びトイレ整備は、当初の計画通り整備が進行し、情報基盤充実化とストレスフリーによる観光しやすい環境へと受入体制の強化が図られました。</p> |
| 4 | 今後の展開 | <p>宿泊施設等の整備は、コロナウイルス感染防止に配慮した整備事業を検討するとともに、おもてなし協議会の事業を展開することで、個人客、旅行社が利用しやすくなるような受入体制を推進します。</p> <p>Wi-Fi機器整備は、全島一斉に機器更新をしつつ新たなエリアを拡充しており、利用状況を把握しながら必要に応じた整備を検討します。</p> <p>トイレ整備は、今回、新たな技術による自己処理型水洗トイレを導入しており、当該トイレの利用状況や維持管理などの運用を把握しながら新たなエリアの設置等を検討します。</p> |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 13 |
| 個別 | 03-02 |

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

| | |
|-----|-------|
| 課名等 | 観光商工課 |
|-----|-------|

| 区分 | 項目 | 島内消費の底上げ及び観光客の誘客に向けた取組み |
|------|-------|---|
| 1 | 【内容】 | 島内消費の底上げ及び拡大により地域経済の活性化を図るとともに、観光客の誘客を加速化させるため、クーポン券等の発行事業を行います。 |
| 組織目標 | 【指標】 | <ul style="list-style-type: none"> ○島民クーポン券の発行 発行冊数 18,500冊（1冊5枚綴り） 1冊5,000円のクーポン券を3,000円で販売 ○観光クーポン券の発行 発行冊数 10,000冊（1冊5枚綴り） 1冊5,000円のクーポン券を2,000円で販売 |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○島民クーポン券発行実績 販売期間：令和2年6月22日～10月30日 発行冊数：27,350冊 換金額：136,268千円 ○観光クーポン券発行実績 販売期間：令和2年2月3日～4月12日（新型コロナにより販売期間短縮） 発行冊数：18,000冊 換金額：30,650千円 |
| 3 | ◎ | <p>上記事業に加え、島民クーポン事業や国のGOTOトラベル事業の波及効果が及んでいない「飲食店」「タクシー事業者」支援に向けた「対馬たべのる券事業（令和2年12月8日～令和3年3月14日）」を実施し、市民による消費喚起策を実施し、効果を得ることができました。</p> <p>発行実績：88,191千円 換金実績：84,197千円</p> <p>なお、観光客誘客に向けた事業については、GOTOトラベル事業やしま旅事業によるクーポンが多数展開されていたため、市独自の事業としては静観し、上記事業終了後に向けた準備を進めました。</p> |
| 評価 | | |
| 4 | 今後の展開 | <p>新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の自粛傾向による減少に加え、市民の外出等の自粛傾向が長期間続き、宿泊事業者・飲食事業者をはじめ観光関係事業者は大きな影響を受け、雇用の安定や事業継続が難しい状況となっています。</p> <p>次年度も雇用環境の崩壊と市内経済の地盤沈下を最小限にするため市内経済刺激策及び事業支援を時期を見極めて実施し、市内経済の下支えをするとともに、アフターコロナの観光客の戻りに備えた事業の存続を図ります。</p> |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 14 |
| 個別 | 03-03 |

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

| | |
|-----|-------|
| 課名等 | 観光商工課 |
|-----|-------|

| 区分 | 項目 | 新たな観光資源の発掘と人口交流の創造 |
|----|---|--------------------|
| 1 | 【内容】 「国境サイクリングIN対馬」を開催し、国内外のサイクリストの方々に、対馬の豊かな自然や独自の風土を体感していただくことで、新たな観光資源の発掘と人口交流の拡大を図ります。 | 組織目標 |
| | 【指標】 ◆国境サイクリングIN対馬 参加者140名 | |
| 2 | ◆国境サイクリングIN対馬 実施予定日：令和2年10月17日（土） 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止 | 実績（成果） |
| 3 | — 新型コロナウイルス感染防止の観点により開催を中止したものの、前年度実施のイベントに対するアンケートで満足度が非常に高かった状況を反映し（80人中、かなり満足が66%、満足が34%）、今年度の開催に関する問い合わせが数十件あっており、イベントそのものに対する関心度は高まっています。 | |
| 4 | 対馬の自然や食を活かした、国境感あふれるイベントを基本として、特に、関西、関東エリアからの参加を促進するとともに、令和5年度までに参加規模を200名程度まで拡大できるよう事業展開を行います。 また、このイベントによる人の流れが観光産業の発展に寄与できるように関連事業者と連携し、国境マラソンに次ぐ継続的なイベントとして形成し、対馬の代表イベントとして定着化を図ります。 | 今後の展開 |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 15 |
| 個別 | 03-04 |

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

| | |
|-----|------------|
| 課名等 | 文化交流・自然共生課 |
|-----|------------|

| 区分 | 項目 | 国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口拡大 |
|----|------|---|
| 1 | 組織目標 | <p>【内容】</p> <p>①（仮称）朝鮮通信使資料館の完成を目指します。</p> <p>②COVID-19の感染拡大防止を視野に、「密」を作る可能性が高いイベント実施の可否検討と、その中で可能な朝鮮通信使PR、国際交流・国際理解に関する市民対象の情報提供等を行います。</p> <p>③朝鮮通信使のまちづくり事業として、キャラクターPRグッズ制作、朝鮮通信使PRイベントを実施します。（COVID-19感染拡大防止による事業実施可否検討を慎重に行った上で）</p> <p>④COVID-19の影響終了後の国際交流イベントの実施、支援を行います。</p> <p>【指標】</p> <p>①（仮称）朝鮮通信使資料館の年度内完成、運営にかかる各種条例等の整備、開館</p> <p>②朝鮮通信使島内PRのためのCATV出演など、3回以上</p> <p>③朝鮮通信使PRイベント（朝鮮通信使に関するシンポジウム）の実施（COVID-19感染拡大防止による事業実施可否検討を慎重に行った上で）150名動員、イベントに合わせたPRグッズ（ペーパーバック3,000枚、ハンドブック6,000冊）の制作</p> <p>④市民向け韓国情報誌の6回発行</p> |
| 2 | | <p>実績（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬市立博物館条例を制定しました。 ・入札不調及び新型コロナウイルスの影響により展示レプリカ作成取材ができなかったため開館が令和3年度に延期になりました。 ・朝鮮通信使島内PRのためCATVに3回出演しました。 ・朝鮮通信使に関するシンポジウムについては、COVID-19（新型コロナウイルス）の感染拡大防止のため中止とし、PRグッズの制作についても中止としました。 ・市民向け韓国情報誌を10回発行しました。 ・歴史講座を年3回（延べ80名参加）開催しました。 ・朝鮮通信使関連解説板の設置（4基）を行いました。 |
| 3 | 評価 | <p>△</p> <p>全世界に拡大したCOVID-19（新型コロナウイルス）の影響により、朝鮮通信使PRイベントを初め予定していたイベントが中止となりました。</p> <p>また、COVID-19（新型コロナウイルス）の感染拡大や日韓情勢の悪化の影響により国際航路（比田勝～釜山）の全面運休が継続しており、インバウンドの回復を見込めない状況にあります。厳しい情勢ではあったものの、国際交流員を活用した韓国情報誌の発行など概ね予定どおり実施しました。</p> |
| 4 | | <p>今後の展開</p> <p>朝鮮通信使歴史館の完成と開館を目指し整備を進めます。</p> <p>まずもって、島内外へのPRを行い観光活用するとともに朝鮮通信使に関する歴史、活動の学習に関して各学校に活用を呼び掛けるなど地域学習の材料としての定着を目指します。</p> <p>また、交流イベントなどについては、COVID-19（新型コロナウイルス）の影響を考え実施困難なものについては、延期・中止を検討しつつ、実施可能な規模の事業を企画します。</p> |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 16 |
| 個別 | 03-05 |

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

| | |
|-----|------------|
| 課名等 | 文化交流・自然共生課 |
|-----|------------|

| 区分 | 項目 | ツシマヤマネコ・生物多様性保全活動の推進 |
|------|---|---|
| 1 | 【内容】 | ツシマヤマネコ等希少種の保護・啓発活動を実施します。また、特定外来生物の市民参加型防除活動、調査を行います。 |
| 組織目標 | 【指標】 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュによるツシマウラボシシジミ保全区域 1か所 ・全国の動物園等における対馬の自然普及啓発事業 2か所 ・市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罟設置 2,000か所 ・ツマアカスズメバチ化学的防除手法の試行 5か所 | |
| 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュによるツシマウラボシシジミ保全区域 1か所 ・全国の動物園等における対馬の自然普及啓発事業 1か所 ・市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罟設置 2,300か所 ・ツマアカスズメバチ化学的防除手法の試行 150か所 |
| 3 | ○ | <p>コロナ禍によりツシマヤマネコ飼育動物園等でのツシマヤマネコ普及啓発イベントは実施が危ぶまれましたが、対馬からリモートで参加する形で開催することができました。また、防鹿柵で囲ったツシマウラボシシジミ保全区を設置し、生息環境を復元整備したことで、本種の絶滅を回避し、安定的な個体群創出に寄与しました。</p> <p>特定外来生物ツマアカスズメバチの防除対策としては、春季に女王蜂を捕獲・駆除するとともに、秋季には誘引液と薬剤を活用した化学的防除を試行し、巣の発生を抑えました。</p> |
| 評価 | | |
| 4 | 今後の展開 | <p>今後も継続して島内でツシマウラボシシジミや希少野生動植物の保全活動を実施するとともに、島外に向けて対馬の自然の魅力をPRして対馬ファンを増やし、確実に保護活動の輪を広げてゆきます。</p> <p>また、外来種対策では環境省や研究機関と連携協力して、化学的防除手法の確立を目指し、効果的かつ順応的な防除を推進します。</p> <p>近年のシカによる下層植生への食害対策としては、希少植物の分布生育調査等を実施し、対策地域の優先箇所を選定した上で、シカ捕獲駆除等を進めます。</p> |
| | | |

| | |
|----|-------|
| 全体 | 17 |
| 個別 | 03-06 |

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

| | |
|-----|----------|
| 課名等 | 博物館建設推進課 |
|-----|----------|

| 区分 | 項目 | 対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用 |
|--------|--|-------------------|
| 1 | 【内容】 1 博物館施設(交流棟ゾーン)の整備推進を行います。 2 博物館の開館を見据え、博物館や対馬の文化財の魅力を市内外に発信します。 3 博物館開館準備のため、博物館に収蔵する資料の選定と整理を実施します。 【指標】 1-①既存施設の解体 ②交流棟ゾーン建設工事の実施 ③博物館施設駐車場の整備 2-①公式ホームページやSNSを利用した情報の発信 ②博物館に関するイベントの開催 2回/年 ③開館に向けた対馬博物館ホームページの開設と広報 3-①博物館収蔵資料の選定及び整理 ②博物館資料収蔵計画の策定 | |
| 組織目標 | | |
| 2 | 1 既存施設(対馬歴史民俗資料館)の解体及び博物館駐車場の整備は完了し、交流棟ゾーンの建設を進めています。 2 対馬博物館ホームページ及び新たなSNSを開設し、情報発信を強化するとともに博物館普及啓発イベントを開催しました。 ・SNSを利用した情報発信: 35回 ・ワークショップの開催: 2回(参加者30名) ・令和2年10月に対馬博物館ホームページを開設 3 博物館に収蔵する資料の調査・選定は完了し、博物館資料収蔵計画の策定を進めています。 | |
| 実績(成果) | | |
| 3 | △ 既存施設解体工事におけるアスベスト飛散防止措置や博物館施設の機能向上のためのキャノピー設置工事等を追加したことによる工期の延長により、開館を令和4年度に延期しました。 また、対馬博物館ホームページや新たなSNSを開設し、情報発信力を強化したとともに、博物館を体感していただくため、館内を会場とした普及啓発イベントを開催し、大人から子どもまで博物館に関心を持っていただく機会を創出しました。 さらに、博物館収蔵資料の選定が完了しましたので、関係機関等と連携しながら収蔵計画の策定を進めています。 | |
| 評価 | | |
| 4 | 博物館完成に向け、引き続き建設工事を進めていくとともに、各種情報発信ツールを活用した多角的な発信による知名度の向上と来年度の開館に向けて来場者の誘引につなげていきます。 また、関係機関との連携、資料所有者等との交渉を進めながら資料収蔵計画の策定を進めていきます。 | |
| 今後の展開 | | |